

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ことばの教室そらまめキッズ東耕田				公表日	令和 8年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・広くはないが活動に応じて部屋を使い分けています。 ・子ども一人一人に合った部屋を使い分けられていると思います。	・不要物の処分をして使える空間を増やしたいと思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・必要に応じて2人制で行うこともあります。 ・小集団活動ができる際は過剰人員にならないように配慮しています。 ・利用状況に応じて職員の配置を考えています。	・今後も状況に応じて配置等を変更しながら取り組んでまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・ドアや床等、構造化を行っています。	・階段や待ちあい等、段差が多いため、安全面に配慮した構造化を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・支援中で気付いた環境の問題点などスタッフ同士で共有し、改善できるようにしています。 ・清掃や消毒を毎日徹底しています。	・倉庫内にすぐに物が溜まってしまうため、こまめに整理を行います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個室、半個室、集団の部屋があり使い分けが可能です。 ・個別の支援に力を入れています。	・特性に応じた対応を行っているが、今後も再構造化を継続していきたいと思えます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・共有、改善のためにスタッフ間で話し合いを行っています。	・PDCAサイクルの習慣化には至っていないため、仕組みづくりに努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・口コミやアンケートなどの協力を保護者をお願いしています。 ・家族支援など、意向確認の時間をとっています。	・今後もスピード感をもって、どのスタッフでも対応できる統一したサービスの提供を進めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・どんなことでも話しやすい人間関係や環境が整っています。 ・朝礼、終礼、面談などが行われています。	・1on1ミーティングをさらに充実させていきたいと思っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・見学受け入れ等を行っています。	・外部からの評価は少ない為、センター等の連携を活用していきたいです。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・対面、非対面での研修が充実しています。 ・他の職員が受けた研修を社内でも共有してもらう機会があります。	・研修でスタッフが多く不在になる日は、事業所の安全性などを充分考慮した上での研修参加や応援体制を検討していきます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HPに掲載されています。	・新人スタッフも話し合いに参加しやすい環境作りを進めていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・保護者との面談や職員間のケア会議を行っています。	・今後も保護者との連携を密にとりながら進めていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ケア会議やスタッフ間の共有を行っています。	・登録人数増加に伴い、1人当たりのケア会議時間の確保が難しくなってきたため、時間の活用方法を検討していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・どの職員が支援に入ってもわかるように記録を残しています。	・今後も計画書を基に、統一した支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・定期的に検査を実施しています。	・日々のアセスメント習慣はついているが、分析シートの活用等が少ないため、活用を促していきます。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	・目標達成するために具体的に設定しています。	・地域支援がやや希薄になることが多く、評価シートでの情報提供に頼っている部分が多いが、今後ITツール等も活用しながら情報共有に努めていきたいです。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	・イベントなど集団活動はチームで計画することが多いです。 ・スタッフ同士で意見を出し合いながら行っています。	・大型イベント等になると担当リーダーへの負担が大きくなりがちなので、チーム組織の強化を図ってまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・担当スタッフだけでなく、様々なスタッフが活動を考えています。 ・個別中心だがニーズに応じて小集団活動を行うことがあります。	・今後も固定化しないよう都度話し合いを進めていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・必要に応じて個別活動と小集団活動を行っています。 ・課題に応じて目標作成、支援しています。	・今後も家庭と連携し必要な支援の提供ができるよう取り組んでいきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・スタッフ間でよく声を掛け合い、話し合いができています。 ・記録にも狙いを入力することで共有がしやすくなっています。	・今後も細かく分担し、チームで連携して動いていけるよう継続してまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・ペアで支援に入る際、終礼時などで必ず共有、振り返りを行っています。	・勤務時間の都合（放デイの日の帰りなど）で振り返りのための十分な時間が確保できないため、改善を図ってまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・記録を徹底し、誰が見ても分かる表現で書くようにしています。	・今後も支援の改善等に記録を用いてまいります。
23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・支援の方針が変わるたびに見直しを行っています。	・半年見直しが多く必要に応じてがやや少ないため、状況に応じた変更等を積極的に行ってまいります。	
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		・利用児によっては偏りがみられることがある為、バランスをみて支援してまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	・個別支援の最後は、選択遊びや自分で決めて頑張っただけお楽しみの活動を行うなど工夫を取り入れています。	・引き続きスケジュールの中に自己選択と表出の機会を多く設けてまいります。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・管理職が参加する事が多いです。入職年数に関わらず、状況に応じて参加できるよう進めてまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・適宜連携を試みるが、医療機関等との連携が少ないので、今後の課題として改善に努めます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	・グループ会議に参加し、交流を図っています。	・助言等を受けられるシステムを把握していないスタッフもいるため、事業所内での情報共有を図ってまいります。
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	・まだ機会は多いとは言えないが、地域の祭りに出展したり講演会の実施をしています。	・限られた業務時間の中でどのように交流の機会を設けていくか法人とも相談してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・支援後、保護者へ対面やアプリでのフィードバックを行っています。 ・事業所内相談で情報共有を行っています。	・今後も定期的に事業所内相談を実施してまいります。 ・保護者が相談しやすい環境づくりを今後も務めてまいります。

保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・毎年度開催し、保護者へ参加の声掛けを行っています。	・機会は設けているが参加率が低いいため、どのように提供することでより多くの保護者に提供できるかが課題になっています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約時に説明して同意を得ています。	・契約時に説明後、忘れてしまわれる方もいるため、いつでも手にとれるように掲示しているが、周知できていないことが課題です。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・事業所内相談を積極的にを行い、保護者への聞き取りを行っています。	・今後も意向をしっかりと把握したうえで、最善の支援の提供を行っていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	・毎回行っています。	・半年に1回で保護者様も忘れてしまいがちなため、都度事業所内相談での聞き取りを徹底していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	・家族支援を行っています。	・今後も積極的に家族支援を行っていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	・ベアトレやイベント等で交流ができる機会を作っています。	・兄弟同士の交流はあまりないので今後イベント等で機会をつくってまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・いつでも相談ができる体制作りを行っています。	・こどもや保護者から伺えていない意見もあるかもしれないので、もっと言いやすい環境や取り組みを検討していきたいです。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	・SNSなどを積極的に活用し、情報発信を行っています。	・今・後も引き続き積極的な情報発信を行っていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・確認を徹底しています。	・今後も引き続き取扱いに十分留意します。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・PECS®やIT機器等を導入しています。	・今後も必要に応じて対応を行っていきます。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・無料講演会や体験会等を開催しています。	・事業所に招待することは難しさもあるが、地域に出向くなど方法は今後も検討していきます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・年間で計画して実施しています。	・マニュアルの周知を徹底します。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・地震や火災、引き渡しの訓練を行っています。	・地震、火災の訓練は出来ているが、水害や原発訓練が実施できていないため、訓練内容の見直しを含め検討していきたいです。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	・毎年保護者へ状況を確認しています。	・確認後、スタッフへの周知まで行き届いていないため、共有を徹底していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・基本的には飲食物の提供を行っていないが、支援に食べ物を使う際は、個別で保護者に再確認を行っています。	・把握と共有に不十分さがあるため、確認と共有を徹底していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・危険な箇所を予測しリスクマップを掲示しています。	・今後も継続して行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	・リスクマップを掲示しています。	・周知を行っているが、途中利用開始の方で分からない方もいらっしゃるため、掲示期間の見直しを行います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・全ての事業所で共有、話し合いを行っています。 ・記録について簡潔にできるよう改善されています。	・インシデント・アクシデント報告は多いが、ヒヤリハット報告が少ない為、今後研修を実施予定です。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・委員会を中心に年に2回研修があります。	・今後も早期発見につなげられるよう、取り組んでいきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	・同意書を作成し、委員会を通して対応を統一しています。	・今後も委員会や保護者協力の下、適切な支援をすすめていけるよう取り組んでいきます。